

7月28日 労働災害の撲滅に向けて ～作業地の安全チェック！～

【東濃森林管理署】

7月28日（火）、東濃森林管理署では請負事業体等合同パトロール及び安全会議を行いました。

この安全会議は、現在事業実行中の治山工事事業地（付知裏木曽国有林）において、今年度当署管内で事業を受注している事業体、恵那労働基準監督署、当署職員が合同で、事業地のチェックを行い、推奨事項については、それぞれの現場へ持ち帰っていただくとともに、改善を要する点については早急に対策を講じていただくことを目的としました。



チェックについて意見交換

パトロールでは普段は気付かない点についても、多くの同業者の目から見ることによって改めて危険個所を洗い出せるなど、チェックを受ける側、行う側の双方にとって有意義な取組となりました。

同席していただいた労働基準監督官からも最近の話題として「ここ以外でも色々な現場へ出向くことがあるが、中にはゴミ箱の中に多くのコーヒーの缶が捨てられている現場があるが、コーヒーは熱中症対

策にはならないので飲む物についても注意していただきたい」など、細部にわたり指導をいただきました。



現在事業実行中の現場でチェック



事業地でチェックを行う様子

東濃森林管理署では、国有林事業に携わる事業体の皆様とともに、安全な作業環境づくりを進めたいと思います。

今後も労働災害防止に向け、安全管理の徹底に努めてまいります。